

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公開番号】特開 2018-102907 (P2018-102907A)

【公開日】平成 30 年 7 月 5 日 (2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-025

【出願番号】特願 2017-207303 (P2017-207303)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/539 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/539

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/15 3 2 9

A 6 1 F 13/15 3 5 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 7 日 (2020.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材シートに吸水性ポリマーが固定されている吸収性シートであって、吸水性ポリマー固定率が 40% 以上である吸収性シート。

【請求項 2】

前記吸水性ポリマーが、基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されている請求項 1 に記載の吸収性シート。

【請求項 3】

前記基材シート固定用接着剤が、アクリル系、シリコン系又はゴム系である請求項 2 に記載の吸収性シート。

【請求項 4】

前記基材シート固定用接着剤がホットメルト接着剤である請求項 2 又は 3 に記載の吸収性シート。

【請求項 5】

前記基材シート固定用接着剤の残留応力が 3 kPa 以上 18 kPa 以下である請求項 2 ~ 4 の何れか 1 項に記載の吸収性シート。

【請求項 6】

前記吸水性ポリマーが前記基材シートの両面に固定されている請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の吸収性シート。

【請求項 7】

前記基材シートが不織布又は樹脂フィルムを含む請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の吸収性シート。

【請求項 8】

前記基材シートの曲げ剛性が 10 cN 以下である請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の吸

収性シート。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 の何れか 1 項に記載の吸収性シートと、該吸収性シートの少なくとも一面を被覆する被覆シートとを具備する吸収体。

【請求項 10】

前記吸収性シートにおける前記吸水性ポリマーが吸液により膨潤した状態において、該吸収性シートにおける前記基材シートの見かけ厚みが、該吸水性ポリマーの膨潤前に比して増加している請求項 9 に記載の吸収体。

【請求項 11】

前記吸水性ポリマーが、被覆シート固定用接着剤を介して前記被覆シートに固定されており、

前記吸水性ポリマーが吸液により膨潤した状態において、前記被覆シート固定用接着剤の接着力が、該吸水性ポリマーの膨潤前に比して低下している請求項 10 に記載の吸収体。

【請求項 12】

前記吸収性シートにおいて、前記吸水性ポリマーが基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されており、

前記基材シート固定用接着剤と前記被覆シート固定用接着剤とは、湿潤状態における接着力が異なり、該基材シート固定用接着剤の方が該被覆シート固定用接着剤よりも湿潤状態における接着力が強い請求項 11 に記載の吸収体。

【請求項 13】

前記吸水性ポリマーが、基材シート固定用接着剤を介して前記基材シートに固定されており、

前記被覆シート固定用接着剤は、前記基材シート固定用接着剤に比して残留応力が小さい請求項 11 又は 12 に記載の吸収体。

【請求項 14】

請求項 2 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の吸収性シートの製造方法であって、

基材シートの一面に接着剤を塗布した後、該一面に吸水性ポリマーの小片を散布する工程を有する、吸収性シートの製造方法。

【請求項 15】

前記接着剤の残留応力が 3 kPa 以上 18 kPa 以下である請求項 14 に記載の吸収性シートの製造方法。